



問 割引キャンペーンをより早期に

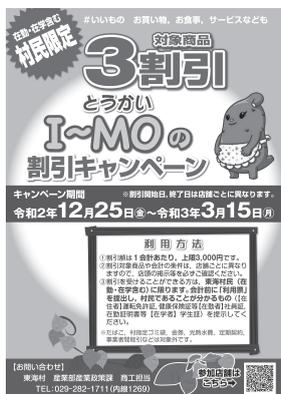
答 可能な範囲で最短とした



新政とうかい
ささひま しょう 議員
笹嶋 士郎

問 9月議会においてコロナ支援のため「村内で買物や飲食の3割引キャンペーンを実施すべき」との質問をし、当該支援策が12月25日から実施することとなった。12月1日から、もつと早く実施できないか。

答 現状を踏まえて、9月議会以降どのような支援策が効果的か商工会と協議し、キャンペーンの内容を決定した。その後、事業者募集や村民への周知のスケジュールを



とうかいI~MOの割引キャンペーン

考え、キャンペーンのスタート時期は可能な範囲で最短の措置とした。

問 新型コロナウイルスの状況は、今後も変わらないと思う。来年以降コロナ対策に国や村の財政支援が続くことは、困難な状況が考えられる。飲食業者等に対し自助防衛策を求めていかなければならないと思うが、村の考えは。

答 飲食業者等は、これまで消毒や換気などさまざまな感染予防対策を徹底し、自助防衛に取り組んでいる。今後の状況に依り、村からも支援に努めたい。

問 「SDGs」進捗状況の可視化は

答 達成に向け「見える化」を検討



公明党
うえき しんじ 議員
植木 伸寿

問 第6次総合計画で示された「人づくり」の取り組み状況は。

答 コロナ禍で、思うような事業展開ができていない状況である。現在は、来年度に向けて新しい生活様式を踏まえ、新たな価値観のもと手法を模索しながら事業を検討する。

問 SDGsへの進捗状況はどうか。

答 実施計画は、各事業のほとんどがSDGsに紐づけられるため、事業推進がそのままSDGsに繋がると考える。

問 SDGsは、



建築が完了した「歴史と未来の交流館」

2030年の目標達成に向け推進されている。進捗状況を確認する可視化など、どう考えるのか。

答 第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略で「SDGsの達成に向けたまちづくり」に向け、分野、施策、主体に捉われない分野横断的ミッションに重点的に取り組んでいる。村でも、特徴を生かした取り組みを進める必要があると考える。コロナ禍により進まない事業もあるが、SDGsの取り組みは「見える化」を検討したい。

一般質問